



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年11月13日

上場会社名 大豊建設株式会社

上場取引所 東

コード番号 1822 URL <http://www.daiho.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大隅 健一

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部経理部長 (氏名) 釘本 実

TEL 03-3297-7000

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	67,238	3.9	4,141	29.1	4,237	28.1	2,783	18.8
2018年3月期第2四半期	64,730	1.2	3,208	11.3	3,308	5.5	2,343	7.4

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 3,034百万円 (0.6%) 2018年3月期第2四半期 3,052百万円 (28.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	161.15	159.12
2018年3月期第2四半期	135.68	133.83

(注) 2018年10月1日付で普通株式5株に1株の割合で株式併合を実施しています。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	137,520	59,474	42.6
2018年3月期	140,561	57,908	40.5

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 58,549百万円 2018年3月期 56,989百万円

(注) 「税効果会計に係る会計基準」の一部改正(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準を遡って適用した後の指標等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期				15.00	15.00
2019年3月期					
2019年3月期(予想)				75.00	75.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しています。株式併合考慮前の2019年3月期(予想)の1株当たり期末配当金は15円00銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	0.2	8,000	28.7	8,000	28.9	5,400	31.5	312.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(注) 2019年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。株式併合を考慮しない場合の2019年3月期の連結業績予想(通期)における1株当たり当期純利益は62円47銭となります。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	17,442,028 株	2018年3月期	17,442,028 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	210,887 株	2018年3月期	154,003 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	17,275,967 株	2018年3月期2Q	17,271,583 株

2018年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に株式併合が行われたと仮定し算定しています。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は2018年6月28日開催の第69回定時株主総会において、株式併合について承認可決され、2018年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施いたしました。併せて同日付で単元株式数の変更(1,000株から100株への変更)を実施いたしました。

なお、株式併合を考慮しない場合の2019年3月期の配当予想及び連結業績予想は以下の通りです。

(1)2019年3月期の配当予想

1株当たり配当金 期末15円

(2)2019年3月期の連結業績予想

1株当たり当期純利益 通期62円47銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	10
(1) 四半期個別受注の概況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、通商問題の動向や海外経済の不確実性等に留意する必要はありますが、企業収益及び雇用・所得環境の改善が続き、緩やかな回復基調となりました。

このような状況の中、当社グループの主要事業であります建設事業におきましては、公共投資は高水準を維持しつつ前年並みで推移し、民間投資は住宅関連で弱含みな面がありますが、企業の設備投資は増加傾向にあり、緩やかな回復基調が続いてまいりました。

このような情勢下におきまして、当社グループを挙げて積極的な営業活動を行いました結果、売上高が67,238百万円（前年同期比3.9%増）、売上総利益が6,814百万円（前年同期比19.1%増）となりましたことから、営業利益が4,141百万円（前年同期比29.1%増）、経常利益が4,237百万円（前年同期比28.1%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,783百万円（前年同期比18.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末に比べ、現金預金が5,004百万円、未成工事支出金等が1,112百万円、建物・構築物が1,328百万円増加しましたが、受取手形・完成工事未収入金等が10,291百万円、立替金が1,154百万円、建設仮勘定が1,014百万円減少したこと等により、資産合計は3,040百万円減少した137,520百万円となりました。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ、未成工事受入金が3,188百万円、預り金が2,461百万円増加しましたが、支払手形・工事未払金等が7,682百万円減少したこと等により、負債合計は4,606百万円減少した78,046百万円となりました。純資産の部は前連結会計年度末に比べ1,565百万円増加した59,474百万円となり、自己資本比率は42.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2018年5月11日発表の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	44,252	49,256
受取手形・完成工事未収入金等	66,028	55,736
未成工事支出金等	2,374	3,486
短期貸付金	20	21
立替金	7,777	6,622
その他	1,617	2,847
貸倒引当金	△91	△80
流動資産合計	121,978	117,891
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	5,572	6,901
機械、運搬具及び工具器具備品	8,397	8,395
土地	5,358	5,362
リース資産	172	89
建設仮勘定	1,319	304
減価償却累計額	△10,950	△10,784
有形固定資産合計	9,869	10,269
無形固定資産		
	134	135
投資その他の資産		
投資有価証券	7,585	8,167
長期貸付金	42	25
繰延税金資産	218	183
その他	851	954
貸倒引当金	△119	△105
投資その他の資産合計	8,579	9,224
固定資産合計	18,583	19,629
資産合計	140,561	137,520

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	44,231	36,548
短期借入金	1,850	1,850
1年内返済予定の長期借入金	3,150	—
未払法人税等	2,137	1,383
未成工事受入金	8,933	12,121
預り金	10,739	13,200
完成工事補償引当金	336	362
賞与引当金	736	764
工事損失引当金	541	437
その他	2,343	647
流動負債合計	74,999	67,316
固定負債		
長期借入金	—	3,150
繰延税金負債	230	367
退職給付に係る負債	6,285	6,160
その他	1,137	1,051
固定負債合計	7,654	10,730
負債合計	82,653	78,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,039	9,039
資本剰余金	7,997	7,997
利益剰余金	37,974	39,461
自己株式	△160	△329
株主資本合計	54,850	56,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,083	2,377
繰延ヘッジ損益	257	186
為替換算調整勘定	△22	△18
退職給付に係る調整累計額	△179	△164
その他の包括利益累計額合計	2,139	2,381
新株予約権	545	545
非支配株主持分	372	378
純資産合計	57,908	59,474
負債純資産合計	140,561	137,520

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	64,730	67,238
売上原価	59,006	60,423
売上総利益	5,724	6,814
販売費及び一般管理費	2,515	2,673
営業利益	3,208	4,141
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	49	54
為替差益	43	69
その他	69	47
営業外収益合計	165	173
営業外費用		
支払利息	17	17
支払保証料	41	38
その他	8	20
営業外費用合計	66	77
経常利益	3,308	4,237
特別利益		
固定資産売却益	0	5
特別利益合計	0	5
特別損失		
固定資産除売却損	0	87
訴訟関連損失	40	10
その他	121	0
特別損失合計	161	98
税金等調整前四半期純利益	3,147	4,144
法人税、住民税及び事業税	1,159	1,278
法人税等調整額	△340	73
法人税等合計	819	1,351
四半期純利益	2,328	2,792
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,343	2,783

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	2,328	2,792
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	450	294
繰延ヘッジ損益	232	△71
為替換算調整勘定	2	4
退職給付に係る調整額	38	15
その他の包括利益合計	724	242
四半期包括利益	3,052	3,034
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,068	3,026
非支配株主に係る四半期包括利益	△15	8

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,147	4,144
減価償却費	228	318
訴訟関連損失	40	10
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△49	△24
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	△40	26
賞与引当金の増減額(△は減少)	80	27
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	63	△125
工事損失引当金の増減額(△は減少)	△18	△104
固定資産除売却損益(△は益)	△0	82
受取利息及び受取配当金	△51	△56
支払利息	17	17
為替差損益(△は益)	△35	△43
売上債権の増減額(△は増加)	11,371	10,315
たな卸資産の増減額(△は増加)	△588	△1,111
仕入債務の増減額(△は減少)	△5,326	△7,691
未成工事受入金の増減額(△は減少)	3,092	3,188
その他の資産の増減額(△は増加)	3,054	△132
その他の負債の増減額(△は減少)	1,398	887
その他の損益(△は益)	△61	30
小計	16,319	9,759
利息及び配当金の受取額	51	56
利息の支払額	△17	△17
法人税等の支払額	△1,251	△2,020
訴訟関連損失の支払額	△11	△27
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,091	7,750
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△52	△2,520
定期預金の払戻による収入	52	20
有形固定資産の取得による支出	△783	△991
有形固定資産の売却による収入	0	6
無形固定資産の取得による支出	△3	△10
投資有価証券の取得による支出	△9	△155
投資有価証券の売却による収入	0	—
会員権の取得による支出	—	△95
短期貸付金の純増減額(△は増加)	2	△0
長期貸付けによる支出	△0	—
長期貸付金の回収による収入	15	14
資産除去債務の履行による支出	—	△56
投資活動によるキャッシュ・フロー	△777	△3,788

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	3,150
長期借入金の返済による支出	—	△3,150
自己株式の取得による支出	△3	△169
配当金の支払額	△772	△1,290
非支配株主への配当金の支払額	△2	△2
リース債務の返済による支出	△7	△4
その他	△1	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△788	△1,478
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	21
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,536	2,504
現金及び現金同等物の期首残高	31,592	44,232
現金及び現金同等物の四半期末残高	45,129	46,736

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	土木事業	建築事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	32,198	31,096	1,435	64,730	—	64,730
セグメント間の内部売上 高又は振替高	41	3	402	446	△446	—
計	32,239	31,099	1,837	65,177	△446	64,730
セグメント利益	2,062	1,137	3	3,203	5	3,208

(注) 1. セグメント利益の調整額5百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	土木事業	建築事業	その他の事業	計		
売上高						
外部顧客に対する売上高	33,820	32,150	1,267	67,238	—	67,238
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	2	863	866	△866	—
計	33,820	32,152	2,131	68,104	△866	67,238
セグメント利益	2,622	1,491	95	4,209	△68	4,141

(注) 1. セグメント利益の調整額△68百万円は、セグメント間取引消去です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

3. 補足情報

(1) 四半期個別受注の概況

個別受注実績

(単位:百万円)

	受注高	
2019年3月期第2四半期	73,328	64.5%
2018年3月期第2四半期	44,578	△35.0%

- (注) 1. 受注高は、当該四半期までの金額です。
2. パーセント表示は、対前年同四半期増減率を示します。

(参考) 受注実績内訳

(単位:百万円)

区 分		2018年3月期 第2四半期累計期間	2019年3月期 第2四半期累計期間	比較増減	増減率	
建設事業	土木	国内官公庁	18,674 (41.9%)	18,228 (24.8%)	△445	△2.4%
		国内民間	664 (1.5%)	22,566 (30.8%)	21,901	—
		海外	101 (0.2%)	361 (0.5%)	260	257.2%
		計	19,440 (43.6%)	41,157 (56.1%)	21,716	111.7%
	建築	国内官公庁	3,989 (9.0%)	3,755 (5.2%)	△233	△5.8%
		国内民間	21,143 (47.4%)	28,407 (38.7%)	7,264	34.4%
		海外	5 (0.0%)	7 (0.0%)	1	33.5%
		計	25,138 (56.4%)	32,171 (43.9%)	7,033	28.0%
	合計	国内官公庁	22,663 (50.9%)	21,984 (30.0%)	△678	△3.0%
		国内民間	21,807 (48.9%)	50,974 (69.5%)	29,166	133.7%
		海外	107 (0.2%)	369 (0.5%)	262	244.8%
		計	44,578 (100.0%)	73,328 (100.0%)	28,750	64.5%

- (注) () 内のパーセント表示は、構成比率を示します。